

(様式3)

事業所名 グループホーム福寿草

目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域とのつきあいに関して、小学校に限らず中学校や近隣のグループホームなどにも交流が持てる機会を増やしていく。	小学生の子供達だけでなく、同法人の別事業所や近くのグループホームなど同じ年齢層の方々との交流も大切にし、様々な関わりを増やしていける様にする。	小学校へは、学習発表会だけでなく運動会や学童野球の見学に行く。中学校へは、職場体験の受け入れ等への積極的な働きかけをする。近くのグループホームへは、行事やボランティア観賞への招待のチラシを配布する。	12ヶ月
2	10	担当職員の毎月のモニタリングも入居者様の要望やさりげない呟き、言葉などを聞き漏らさずにしっかりと記録に残し、入居者様にとっての必要なサービスを支援できる体制をつくる。	モニタリングの重要性を一人ひとりが再確認しカンファレンス時には、積極的に参加や発言が出来るように担当の役割を把握すると共に関わりを増やしていく。	交換ノートでのご家族様との連絡等も、サービス計画に添った内容の書面や変化等も担当職員自身がしっかりと報告する。担当が変わった時も写真を貼り顔を認識してもらいご家族様との信頼関係を今以上構築していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。